



トピックス

理事長挨拶／30周年祝賀会…………… P2  
 ボランティア交流会／  
 30周年記念祝典及び30周年祝賀会 …… P3  
 地域講演会 …………… P4

永年勤続職員インタビュー／新人紹介 …… P5  
 平成27年度事業報告・決算報告…………… P6～P7  
 おいしいね／感染症から身を守ろう  
 ／北部地区地域包括支援センター開設／編集後記 P8

# 周年を迎えて...



## 社会福祉法人 慈恵会 ゆいの里 創立三十周年を迎えて

社会福祉法人 慈恵会  
理事長 廣田加代子

社会福祉法人慈恵会は創設者廣田明・良が守山にもどうしても特別養護老人ホームが必要だと一念発起したことから昭和60年12月に誕生致しました。そして翌年4月守山で初めて滋賀県で12番目の念願の特養ゆいの里が誕生致しましてからおかげ様で今年満30歳の夏を無事迎えることができました。

これもひとえにご利用の皆様、大勢のボランティアさんをはじめ地域の皆様、行政の皆様、そして法人役職員の皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

本年4月から6月にかけて職員、ご利用者、ボランティア、そして一般市民の方に向けてそれぞれ30周年関連行事を開催して、ここまでの経過や社会福祉法人としては30年のここからがいよいよ正念場だと考えているとお伝えしてまいりました。今後組織力を高めて、厳しい時代にもまた複雑な問題にも対応できる体力を付けて地域の皆さんと助け合いながら安心して住み続けられる地域づくりを目指すとがこれからの法人の使命と考えております。

5月のゆいの日・ボランティア交流会の参加者からは「職員の皆さんの思いが一つになっていることを感じた」また6月の地域講演会の講師の先生からは「ゆいの里の取り組みが守山の皆さんの大きな安心につながっていることを肌で感じた」などと心温まる感想を頂きました。職員一同思いを新たに今後も引き続き地域に不可欠の存在であり続けられるよう努力する所存です。どうぞ変わらぬご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



## 利用者様とお祝い

● 幸津川デイ ●



各部署楽しい催しものを開催!! (^^)  
みんなでお祝い膳を食べて乾杯!!  
おいしい♪



● グループホーム ●



● 特養 ●



● ケアハウス ●



● ショート ●



● 守山デイ ●



● 別館 ●

ヴィオリラの音色、とても素敵～♪

ボランティアさんや職員の出しもので大盛り上がり!!

# ゆいの里 30

## ボランティア交流会&第4回創立者記念「ゆいの日」式典

法人創立30周年の節目のゆいの日にあわせて平成28年5月28日に第16回ボランティア交流会と第4回創立者記念「ゆいの日」式典をラフォーレ琵琶湖にて開催致しました。

法人では日頃支えて頂いているボランティアさんに対して感謝の気持ちを伝えること、ボランティアさん同士の交流・親睦を目的に、年に一度交流会を行っています。

今年の交流会はゆい福祉基金と協賛して行い、一部 第4回「ゆいの日」式典では、地域や法人で活躍されている実績30年以上のボランティアさんへの感謝表彰と男声ヴォーカルユニット「はもりべ」コンサートを開催しました。

その後二部の第16回「ボランティア交流会」では食事を取りながら、リニューアルした法人の紹介DVD上映や先進的活動を行っているグループの活動報告など聴いて、参加者180人は明日からの活動に力をもらいました。

参加者から「和やかな会とすばらしいコンサートで癒された」「事例報告を聞いて今まで自分は何をしてきたのだろうと思ってしまった」「一日心が清められた思いだ」表彰を受けた高齢の方は「生きていて良かった」などたくさんの感想をいただきました。

法人ボランティアさんは3月末現在で65グループ、延べ人数にして169人の方が活動され、27年度は延べ約2千人の方にお世話になりました。法人創設時の昭和61年から数えると30年間で6万人を超えるボランティアさんに支えていただいで今日があることに改めて感謝をしています。



—ゆいの日 表彰者—

※ゆい福祉基金とは、法人設立者廣田明が残した財源を活かし広く地域へ「ゆいの心」を広げるために設立した任意団体。ゆいの里から一歩離れ、法人利用者、職員そして地域の福祉活動を支援しています。

## 30周年記念祝典及び祝賀会

平成28年4月2日(土) ライズヴィル都賀山にて職員に向けた30周年記念祝典及び祝賀会を行いました。行事を企画するにあたり、法人内からプロジェクトメンバーを募ったところ、若い職員からベテラン職員まで総勢10名のメンバーが集まりました。このメンバーでアイデアを出し合い、法人紹介のDVDと30周年記念誌を作成し、祝賀会ではDVDを初上映しました。いつも一緒に働いている同僚の姿が大きなスクリーンに映し出されると、笑いや歓声が起こり、和やかな上映会となりました。DVDや記念誌を通して、改めて法人の成り立ちや創設者の思いを知ることができました。

今後も、職員一同「ゆい=結」の理念を大切に、地域に根ざし、社会に貢献できるゆいの里でありたいと感じました。





## 社会福祉法人慈恵会ゆいの里 法人創立30周年記念式典及び地域講演会

～利用者様、ご家族様、地域の皆様、ボランティア様、行政の方々、皆様に支えられて30年を迎えました～

雨が降りしきる6月16日、守山市民ホール小ホールにて、160名の参加を得て、江月会ボランティアさんによる呈茶からスタートしました。お茶を頂きながら、懐かしい方々と、あちこちの席でお話しが出来たのは嬉しいことでした。

第一部の理事長挨拶では、「これから法人が歩む地域貢献への意気込み」を、来賓の宮本守山市長様からは、「今後の高齢者福祉への期待」をお話し頂きました。また、法人設立以来支えて頂いた、理事様への感謝表彰と、永年勤続職員表彰が行なわれました。

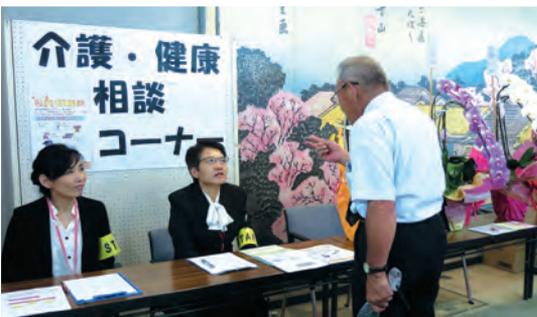


第二部では講師に松本一生先生をお招きして、『認知症の人のこころの理解と家族支援』～地域で支えること・支えられること～と題して先生ご自身の体験を踏まえた、心に染み入るお話に、参加者皆が聞き入りました。認知症の「人」への理解は勿論のことですが、伴走者であるご家族への理解や、地域全体で支え合う大切さをそれぞれの立場から学ぶことが出来ました。

最後のお時間を頂いて～30年間の歩みと、これからの地域づくりへのお手伝い～と題して、ゆいの里の事業紹介と、今後の地域貢献に向けた、意思表示をさせて頂きました。具体的には、地域包括ケアの実現に向けて、『地域包括支援センター』の円滑な受託運営、『生活支援サポーター養成・派遣事業』『居場所づくり』『出張介護相談』等々です。

今般、30周年記念行事を通して、ゆいの里は多くの方のお力に支えられて来た事・地域の皆様の期待に、本気でお応えしなければならないことを、しみじみ感じました。

30年間ご支援頂き、ありがとうございました。今後、職員が一体となり、大きな期待を寄せて頂ける・そして応えていける法人でありたいと思います。これからもよろしくお願い致します。



# 永年勤続職員インタビュー



## 質問内容

- ①最初に配属された部署
- ②新人の時の思い出
- ③仕事で特に大事にしている事
- ④リフレッシュ方法
- ⑤新人の方に一言



特養  
まつもと え  
**松本やす江** (勤続 24 年)

- ① 栄養サービス
- ② ゆいの里の皆様の優しさにいつも感謝をしながら仕事をさせて頂いていました。
- ③ 利用者様の方々と少しでも多くの声をかけながら、お話をしたり、毎日を笑顔で仕事をさせて頂いています。
- ④ 近頃は少し時間もでき、お菓子を作ったり、畑をしながら、日々を過ごしています。
- ⑤ 新人さん達は、今は仕事を覚える事、色々大変と思いますが、一に努力、二に努力。きっと、うれしい事もいっぱいできます。



訪問介護  
なかむら ゆきこ  
**中村由紀子** (勤続 20 年)

- ① 介護サービス部 本館早朝パート。
- ② 当初は経験も資格も無く、若い職員の方々が一生懸命仕事をされているのを見て、大変な仕事を、偉いなぁと感じていました。
- ③ 訪問の仕事については、利用者様や家族も含めて「見て、聞いて、感じ取る」を大事に、自宅での生活が、安全に楽しく過ごせる様に、支援したいと思います。
- ④ 旅行。
- ⑤ 慣れるまでは色々大変な事が多いと思いますが、ゆいは楽しい職場ですので「継続は力なり」で頑張ってください。



ショートフロア  
しまはら ひろふみ  
**島原 博文** (勤続 22 年)

- ① 守山デイサービス
- ② 昔過ぎてあまり覚えていませんが、外出行事で大阪の海遊館に行ったことです。大人数で大変でしたけど楽しかったです。
- ③ 「一日一笑」一日に一回でも一人でも多くの方に心から笑ってもらえるようにしています。
- ④ 車を運転すること。大好きなF1を観戦すること。
- ⑤ 最初は無理をせず、楽しみを見つけて、その楽しみを増やして行って下さい。

2016年

# 新人紹介

## 質問内容

1年後になりたい自分

よろしくお祈いします！



特養  
にしむら だいすけ  
**西村 大介**

来年の今頃、トイレ誘導・オムツ交換・移乗介助を完璧にしたいです。



特養  
あまの りょう  
**天野 涼**

家に近い生活をおくって頂けるよう、利用者様に寄り添い適切な関わりをしていきたいです。



ショートフロア  
ほそい ゆうや  
**細井 優也**

利用者様一人ひとりの不安の声に寄り添い頼りにされたいです。



グループホーム  
とよだ たかし  
**豊田 高士**

利用者様や仲間に信頼される、おもしろさが出せる職員になりたいです。

# 平成27年度 事業報告

## ◆ 総 括

- I. 「利用者中心のサービス提供」
  1. 施設での看取りケアの継続。デイ、居宅、訪問の各事業も「在宅看取り」の支援。
  2. 感染予防対策は、研修会開催を強化して実施できた。
- II. 「地域福祉への貢献」
  1. 守山市北部地区地域包括支援センター運営業務および北公民館貸館管理業務の運営受託
  2. 社会福祉法人の公益事業に向けた情報収集（地域自治会への訪問や、自治会カフェの支援）
- III. 「職員の資質の向上」
  1. 人事考課制度の個人面談及び評価の後、上位者を表彰。
  2. 園内研究発表会の入選者が滋賀県老人福祉協議会・社会福祉学会等で発表。
  3. 『認知症介護研究会』の立ち上げの準備、教育担当者制度の形を整えた。
- IV. 「安全管理の徹底」
  1. 近隣施設と[福祉教育ゾーンまちづくりパートナーシップ協定]の締結。
  2. 滋老協南部ブロック等々の協力体制を整えた。
  3. 幸津川デイの浴室、トイレ、職員休憩室等の内装修繕を実施。
- V. 「健全経営の確保」
  1. 法人組織力診断から弱点・強みを知った。法人全体で課題を強化する。
  2. 目標稼働率への達成率 特養[101.8%]・ショートステイ[87.8%]・守デイ[一般106%][認知症91.8%]  
幸津川デイ [85.1%]・グループホーム [100.3%]・ケアハウス [103.5%]・居宅[93.4%]・訪問介護[128.9%]
- VI. 「人材確保に努める」
  1. 見学会、福祉の職場説明会、派遣紹介、新聞折り込み、ラジオコマーシャル等を通して広く求人をした。  
職員紹介制度の整備。OB会を開催し、3名が就労につながった。

## ◆ 利用状況

※各表は平成28年3月末現在のものです。

特別養護老人ホーム（定員100名）				ショートステイ（定員16名）			
年間入所平均数	97.7名	平均入院数	2.4名	年間延べ利用者数	5,435名	1日平均	14.9名
平均年齢	86.8歳	最高齢者	101歳	平均介護度	2.8		
平均介護度	3.5	年間入退所数	19名/19名				

デイサービスセンター						
守山デイサービスセンター（定員合計47名）	年間延べ利用者数	9,504名	1日平均	36.8名	平均介護度	1.7
幸津川デイサービスセンター（定員32名）	年間延べ利用者数	6,353名	1日平均	20.4名	平均介護度	2.8

グループホーム（定員18名）				ケアハウス（定員50名）			
年間延べ利用者数	6,391名	1日平均	17.5名	年間延べ利用者数	18,140名	1日平均	49.7名
平均年齢	87.8歳	最高齢者	96歳	平均年齢	84.1歳	最高齢者	96歳
平均介護度	2.1			平均介護度	1.2		

居宅介護支援事業所				訪問介護事業			
年間給付実績件数	2,079件	月平均	173.3件	年間利用実績件数	7,423件	1日平均	23.9件
平均介護度	2.0			平均介護度	2.1		

守山市委託事業					
サロン派遣事業	年間開催実績回数	35回	守山百歳体操	年間延べ利用者数	898名
守山能力アップ教室	年間延べ利用者数	596名			
認知症サポーター養成講座	年間延べ参加者	守山市地域包括センターが開催する市民向けのサポーター養成講座に講師として述べ5名参加			

- ◆ **実習等受入数** 実習・体験受入数 46名  
 実 習 受 入 社会福祉士、介護福祉士、看護師、ヘルパー実習 17回 35名  
 体験学習等受入 体験学習5回 11名

- ◆ **ボランティア活動**  
 ボランティア登録グループ数・延べ人数及び来園延べ人数 登録数：65グループ・169人 年間延べ数1,985名

- ◆ **職員研修状況**  
 園内研修延べ回数 23回／年 参加延べ人数 855名／年  
 園外研修 参加延べ人数 125名／年  
 階層別研修 参加延べ人数 80名／年

## 平成27年度 決算報告

自：平成27年4月1日 至：平成28年3月31日  
 (単位：千円)

### ■ 貸借対照表

資産の部	
流動資産	553,763
固定資産	1,921,194
(基本財産)	1,530,727
(その他固定資産)	390,467
<b>資産の部合計</b>	<b>2,474,957</b>

負債の部	
流動負債	79,245
固定負債	144,618
<b>負債の部合計</b>	<b>223,863</b>

純資産の部	
基本金	437,122
国庫補助金等特別積立金	716,164
施設整備等積立金	180,000
次期繰越活動増減差額	917,808
(うち当期活動増減差額)	4,694
<b>純資産の部合計</b>	<b>2,251,094</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,474,957</b>

### ■ 事業活動計算書

収入の部	
介護保険事業収益	786,452
老人福祉事業収益	89,579
経常経費寄附金収益	658
その他収益	393
<b>サービス活動収益計</b>	<b>877,082</b>
受取利息配当金収益	201
その他サービス活動外収益	6,057
<b>サービス活動外収益計</b>	<b>6,258</b>
施設整備等補助金収益	1,100
固定資産受贈額	31,181
固定資産売却益	200
その他特別収益	712
<b>特別収益計</b>	<b>33,193</b>
<b>収益の部計</b>	<b>916,533</b>

支出の部	
人件費	576,733
事業費	132,484
事務費	95,130
利用者負担額増減額	926
減価償却費	91,972
国庫補助金等特別積立金取崩額	-41,074
<b>サービス活動費用計</b>	<b>856,171</b>
支払利息	214
その他サービス活動外費用	4,959
<b>サービス活動外費用計</b>	<b>5,173</b>
国庫補助金等特別積立金取崩額	-5,036
国庫補助金等特別積立金積立額	32,281
その他の特別損失	23,250
<b>特別費用計</b>	<b>50,495</b>
<b>費用の部計</b>	<b>911,839</b>
<b>当期活動増減差額</b>	<b>4,694</b>

# おいしいね

## ケーキ寿司



- 材 料 (2人分)
- 米 …………… 2合
  - 砂糖 …………… 大さじ3
  - 酢 …………… 大さじ3
  - 塩 …………… 少々
  - サーモン ……… 4枚
  - 卵 …………… 2個
  - 青シソ …………… 2枚
  - 鮭フレーク …… 1切分
  - イクラ …………… 適量

### 【作り方】

- 1 米を硬めに炊く。小鍋に砂糖・酢・塩を入れて溶かして合わせ酢を作る。炊き上がったご飯に加えて混ぜ寿司飯を作る。
- 2 青シソは千切りにし、流水でアクを抜き、水気をしっかり絞る。
- 3 卵を割り、薄焼き卵を作って錦糸卵にする。
- 4 お皿に丸いケーキ型や、5～6cm高さに切った筒状の牛乳パックを置いて冷ました酢飯を型の半分まで入れる。
- 5 その上に鮭フレークをのせて、残りの酢飯をのせる。
- 6 サーモンをクルクルと巻き、バラの花のようにする。
- 7 型を抜き、上に錦糸卵をのせ、サーモンの花と青シソ・イクラを並べて完成。

### ひと工夫アドバイス

- \* 青シソの代わりにいんげん、きゅうりやアスパラ、菜の花など季節に応じてお好みの青みを準備してください。
- \* サーモン以外にお好みのおつくりや、ハム、海老などでも楽しめます。
- \* 鮭フレークの代わりに桜でんぶや焼いてほぐしたたらこでも色合いが綺麗です。
- \* お寿司はゆいの里のお年寄りにも人気のある料理の1つです。お粥にすし酢を入れ、粥寿司にしてもおいしく食べる事が出来ます。その際は上にのせる具材が傷まないようにお粥のあら熱はしっかり取るか、鮭フレークや鶏そぼろなど加熱してある素材を上手に使用してください。

# 『感染症から身を守ろう』

秋から冬にかけては、朝夕の気温の変化や空気の乾燥により感染症が流行しやすくなります。抵抗力の弱い子どもや高齢者は重症化しやすくなるため、日ごろからの予防策が重要となってきます。

## 予 防 策

### ①人混みを避ける

人混みでは不特定多数の人との接触が増えます。流行期や体力が落ちている時はなるべく人混みは避けましょう。

### ②手洗いやマスクの着用

手についたウイルスや菌を体の中に入れていないために、外出から帰った時やトイレの後、食事の前には石鹸を使って手洗いをしましょう。

咳やくしゃみの症状がある時は、他者にうつさないためにマスクを着用しましょう。

### ③湿度管理を行う

空気が乾燥すると感染症にかかりやすくなります。加湿器の使用や濡れタオルを干すなど、室内の湿度を40～60%に保ちましょう。

### ④バランスの取れた食事としっかりとした休息

体の抵抗力を高めるために、バランスの良い食事と十分な睡眠をとりましょう。日頃から規則正しい生活を送ることが重要となります。

インフルエンザの予防策については、流行前の予防接種が有効で効果が高いとされています。予防接種を受けることで、万一感染しても重症化する可能性が低くなります。日頃からの予防策と合わせて検討してみてください。



## 編集後記

今年度は『感謝の気持ちで前進を』をテーマに、法人で実施した利用様や地域の方々に向けた30周年記念行事を掲載しました。今号は【感謝号】と名付け、ゆいの里に携わって下さっている皆様に『ありがとう』という想いを沢山詰めました。読んで下さった方に少しでもその気持ちが伝わると嬉しいです。

(広報委員 大西 由佳)

## 『守山市北部地区地域包括支援センター』が、市立北公民館内に開設されます！

守山市はこれまで直営1か所(すこやかセンター内)で業務を行ってききましたが、身近なところで相談支援ができるよう、民間委託により、順次3か所の「地域包括支援センター(圏域センター)」を設置していくことになりました。

圏域センター1か所目となる「北部地区地域包括支援センター」を当法人が受託し、10月から市立北公民館内(洲本町)に開設されます。

市の介護・福祉行政の一翼を担う公的な機関として、公正かつ中立な業務運営を行ってまいりますので、よろしく申し上げます。

- ◆ 特別養護老人ホームゆいの里
- ◆ ゆいの里守山デイサービスセンター
- ◆ ゆいの里守山居宅介護支援事業所
- ◆ ショートステイゆいの里
- ◆ ゆいの里幸津川デイサービスセンター
- ◆ ケアハウスゆい
- ◆ グループホームゆい
- ◆ ゆいの里訪問介護ステーション
- ◆ 守山市委託事業

社会福祉法人慈恵会 ゆいの里

〒524-0103 滋賀県守山市洲本町1番地

TEL.077-585-4533

FAX.077-585-5675

● 代表 E-mail [home@yuinosato.or.jp](mailto:home@yuinosato.or.jp)

● ホームページ <http://www.yuinosato.or.jp>



※写真の掲載許可はいただいております。